

広報

さ か い

CONTENTS

さかいのヨサン	2
小林氏が助役に	6
市長とのパイプ役・ 区長が決定	6
定例議会	6



坂井市の収入には、どんなものがあるの？

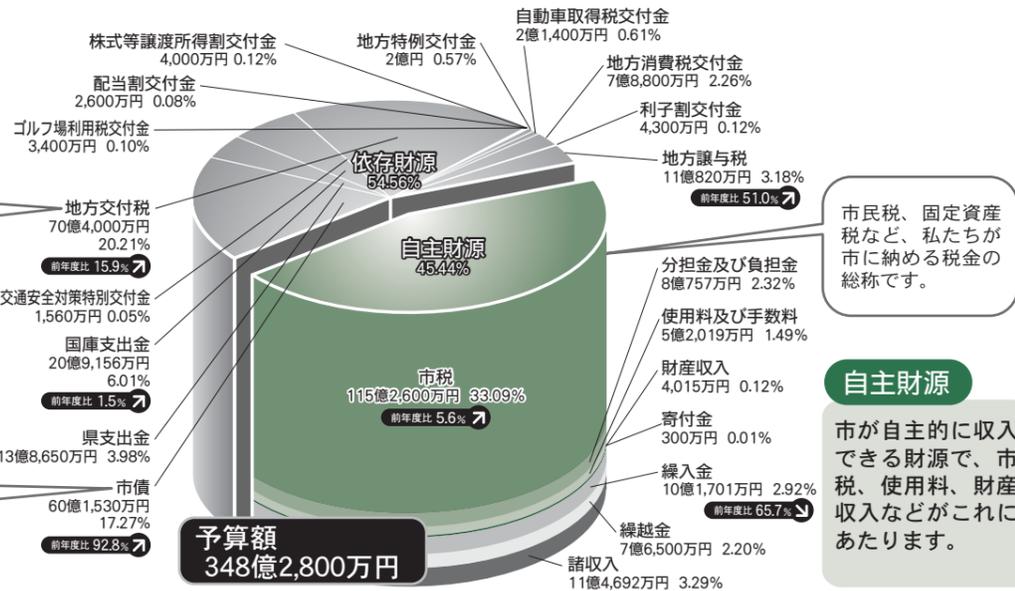
市の税金のほか、国や県から配られるお金や借入金などがあります。一般会計の歳入(収入)の3分の1は、私たちが市に納めた税金=市税です。市税の主なものとしては、収入などに応じて市民が負担する住民税、土地・家などの価格に応じて所有者が負担する固定資産税などがあります。市の収入にはこれ以外に、私たちが国や県に払っている税金の一部が市に配られるもの(地方交付税、国・県支出金、地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金)や、公共施設や道路の整備の財源として借り入れる地方債があります。

依存財源

国や県から交付されたり割り当てられたりする財源で、地方交付税、市債、国庫支出金などがこれにあたります。

国が徴収した税金を、すべての自治体が一定のサービス水準を維持できるように配分するものです。

学校建設や道路建設などの財源として、長期の借入れを行うものです。



自主財源

市が自主的に収入できる財源で、市税、使用料、財産収入などがこれにあたります。

市民税、固定資産税など、私たちが市に納める税金の総称です。



皆さん、こんにちは。予算は、皆さんが納めてくださる税金の使い道。坂井市になって初めて編成した予算を紹介します。



よっサン

坂井市の予算って、どれくらいの規模なの？



全会計の合計は621億8,638万円。一般会計では、348億2,800万円です。

坂井市の平成18年度一般会計予算は、旧四町の当初予算を合算したものに比べて、約40億円(13.0%)の増となりました。(以下、前年比は昨年の旧四町の当初予算の合算との比較)これは、主に福祉事務所の設置に伴い、生活保護や児童扶養手当などの事務が県から委譲されたことによる予算措置や、合併による地域振興のための基金を創設することによるものです。

一般会計

収益のない事業(福祉、教育、道路整備など基礎的な行政サービス)を行う会計で、主に市税(住民税や固定資産税など)や地方交付税でまかなわれています。

特別会計

国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計と分けて経理することで収支を明確にした会計です。坂井市には、3つの特別会計があります。

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	68億2,862万円	5.1%
老人保健特別会計	86億9,793万円	△1.6%
赤坂聖苑特別会計	1億8,250万円	△4.5%

公営企業会計

水道など民間企業と同じように事業で収益をあげて運営している会計です。坂井市には4つの公営企業会計があります。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業会計	24億6,606万円	△19.9%
公共下水道事業会計	66億7,241万円	21.0%
農業集落排水事業会計	1億435万円	6.0%
病院事業会計	24億651万円	△49.3%



私たちの暮らしに、こんなにたくさんのお金が使われているのね。



じゅ〜ミン



坂井市初年度の予算編成は、合併協議で調整された内容を尊重。ハード事業は、「坂井市まちづくり計画」の基本理念をもとに各町の継続的な事業を中心に計上しています。

住民とともに育ちまちづくり

地域協議会運営費	3,904千円
戸籍電算化事業	60,062千円
多様な都市活動を支えるまちづくり	
電子申請サービス事業	583千円
地方道路交付金事業	238,891千円
地方特定道路整備事業	198,119千円

地域の活力を創造するまちづくり

明日の地域農業を支える担い手条件整備事業	58,955千円
坂井北部丘陵地農業経営体育成モデル事業	57,100千円
水産基盤整備事業	30,010千円

安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

坂井市防災計画策定	3,050千円
三国立田団地耐震化等工事	198,480千円
市単独道路改良事業	418,211千円
汚水管渠整備事業(公共下水道事業会計)	1,641,659千円
幹線配水管路バイパス化事業(水道事業会計)	20,080千円

美しい自然と共生するまちづくり

一般廃棄物収集処理事業	1,522,698千円
-------------	-------------

誰もが笑顔で暮らせるまちづくり

生活保護費	229,330千円
春江北保育所改築事業	370,800千円
病児病後児保育委託事業	6,780千円
人間ドック事業(国民健康保険会計)	23,371千円
三国病院駐車場整備事業(病院会計)	103,000千円

生涯を通じて学び・育ちまちづくり

中学校校舎等耐力度調査事業	22,086千円
小学校校舎等耐震診断事業	59,012千円
春江東小学校整備事業	1,249,637千円
学級運営支援事業	36,155千円
坂井市古城マラソン大会	8,330千円
坂井市民スポーツ祭	5,000千円
丸岡B&G・フィットネスセンター指定管理者委託料	40,000千円

地域全体でもてなすまちづくり

観光宣伝事業	15,453千円
丸岡城桜まつり	2,821千円
三国祭山車事業補助金	6,750千円
三国花火大会事業補助金	1,000千円
観光振興対策事業	1,066千円



坂井市の予算、合併前と比べてどうなの？

健全化にむけて着実に取り組んでいます。

市長の公約どおり、市長・助役・教育長の給与を月額10%、区長の給与を20%削減し、経費の抑制に努めています。もちろん、職員も積極的に自助努力を行って、各種委託経費や事務経費などすべての経費についても見直しを進めています。

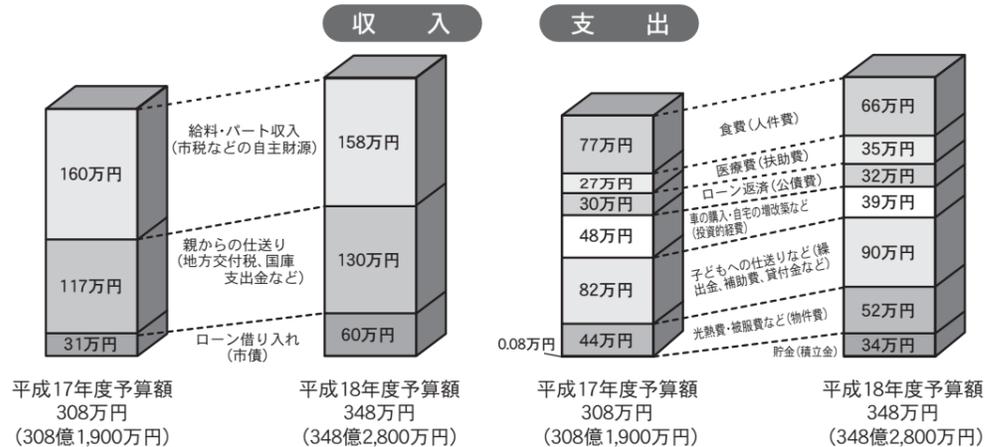


坂井市の予算を家計簿に例えると？

平成18年度の予算を10,000分の1に換算してみました。

【年間収入】		【支出】		単位:円
給料・パート収入 (市税などの自主財源)	1,582,584	食費(人件費)	658,582	
仕送り・臨時収入 (地方交付税、国庫支出金など)	1,298,686	医療費(扶助費)	352,330	} 義務的経費
ローン借入れ(市債)	601,530	ローン返済(公債費)	314,904	
		車の購入・自宅の増改築など(投資的経費、維持補修費)	389,157	
		子どもへの仕送りなど(繰出金、補助費、貸付金など)	905,123	
		光熱費・被服費など(物件費)	524,463	
		貯金(積立金)	338,241	
収入計	3,482,800	支出計	3,482,800	

合併前と比べてみました。



予算は皆さんの生活に密接に関わるもの。予算を身近に感じていただけると嬉しいです。



人口9万5千人都市「坂井市」初の予算編成は、合併協議会における確認事項や事務事業の調整方針を尊重しています。また、旧四町の継続的な課題の解決や、一体感を早期に醸成することを第一に、緊急度の高い施策・事業の選択と集中を図り、経費の合理化・効率化・重点的配分に努めています。

一般会計の歳出について、市になったことで福祉事務所が設置され、それに伴い県から移譲された生活保護の経費などを新たに計上しています。

また、今回の合併支援措置である合併特例債を活用した「地域振興基金」を創設するための積立金を計上しています。この基金は、市民の連帯の強化や地域振興を推進するために活用するものです。創設にあたり、その財源である市債が増えましたが、これは償還金の7割が普通交付税に算入される優良起債なので、積極的に活用しました。

財政的にはとても厳しい状況ですが、合併の意義と効果を最大限に発揮し、徹底した行財政改革と効率的な財政運営に努めていきます。



税金などの収入は、何に使われているの？

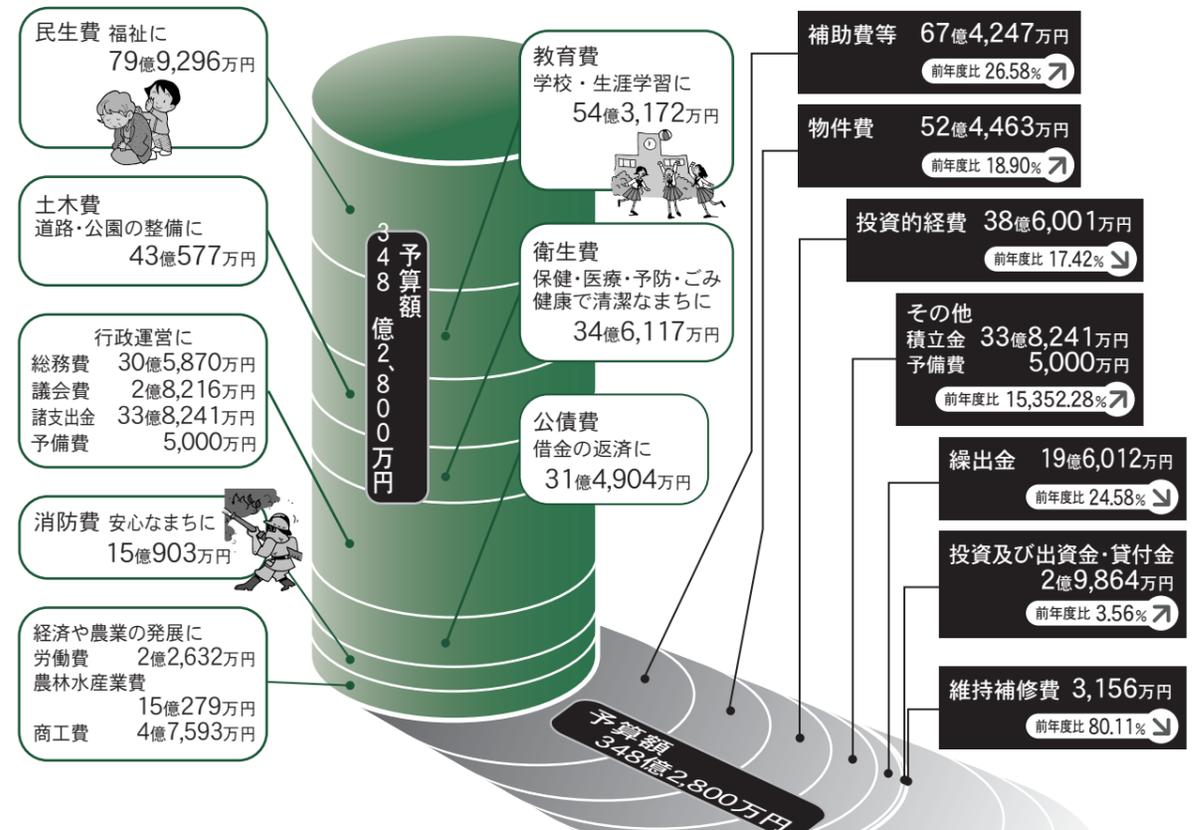
福祉や教育をはじめ、まちづくりや防災など幅広い分野に使われます。



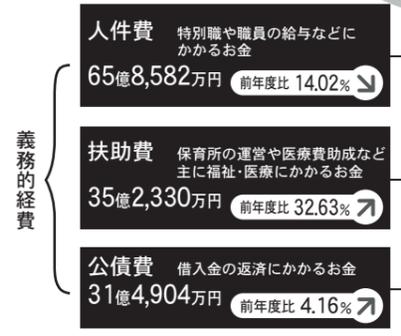
投資的経費とは
学校や道路などの建設にかかるお金

補助費等とは
一部事務組合に対する負担金や各種団体への補助金、下水道事業の運営に対する補助金などにかかるお金

一般会計歳出の内訳



義務的経費とは
毎年必ず支出が必要となる固定的な経費です。歳出に占める義務的経費の割合が高まると自由に使えるお金が少なくなり、財政が硬直化してしまいます。



小林氏が助役に!



▲就任した小林氏

定例議会で助役の選任についての議案が提出され、助役に小林正明氏(51歳・春江町西長田)を選任することに同意されました。

定例会議

当初予算について熱く討議

第2回市議会定例会が6月22日(木)から7月6日(木)まで開会されました。

選挙管理委員の選挙や特別委員会の設置、平成17年度一般会計繰越明許費や公営企業会計の繰越計算書の報告などが行われました。また、平成18年一般会計予算ほか26議案が提出され、最終日に可決されました。助役や監査委員、公平委員会委員の選任についても同意されました。

このほか、議員発議で、議会政務調査費の交付に関する条例と規則の制定について議決されました。

主な議案

▽特別職の職員の給与及び



▲所信表明する市長

旅費等に関する条例の特例に関する条例の制定▽教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の特例に関する条例

(市長と助役、教育長の給料の月額を10%減額。地域自治区長については20%減額)

▽みくに文化未来館ほか22施設の指定管理者の指定(効果的かつ効率的に公の施設の管理運営)

▽収入役事務兼掌条例(収入役を置かず、助役がその業務を行います)

市長とのパイプ役 4区長(総合支所長)

地域自治区長の辞令交付式が6月21日(水)、市長室で行われました。

区長は、地域の声を行政に反映させるため、住民や地域協議会などから意見や提言などを市長に届けます。会議を月1回程度開き、意見交換していきます。任期は2年。※敬称略

三国自治区長

西 昇

(70歳・三国町米納津)

丸岡自治区長

北川 貞一

(60歳・丸岡町乗兼)

春江自治区長

富田 嶺生

(69歳・春江町藤鷲塚)

坂井自治区長

伊藤平一郎

(64歳・坂井町上蔵)



▲市長と語り合う4区長

監査委員と選挙管理委員が決まる

決定した委員は次のとおり。(敬称略)

市監査委員

東 健一

(71歳・坂井町高柳)

田本 光三

(62歳・丸岡町石城戸町)

○橋本 充雄

(49歳・春江町沖布目)

※○は議会選出

選挙による農業委員30人が決まる

市選挙管理委員会

委員長 日下部英夫

(69歳・丸岡町舟寄3区)

委員長職務代理者

由川 利美

(69歳・坂井町上兵庫)

委員 藤田 幸久

(70歳・春江町境元町)

委員 稲田 修

(56歳・三国町西今市)

嶋田 明良(68歳・近庄)

北嶋 雪雄(58歳・舟寄5区)

南出 俊昭(63歳・与河)

◆第3選挙区《春江町》

長谷川源吾(64歳・辻)

平田 孝治(52歳・針原西)

松浦惣左工門(63歳・石塚)

中野 清一(71歳・沖布目)

佐藤平一郎(59歳・中庄)

牧田 正幸(59歳・藤鷲塚)

森 徹(60歳・大牧)

◆第4選挙区《坂井町》

野村 潮司(50歳・下兵庫)

後藤 數馬(72歳・田島)

奥出 秀二(64歳・長屋)

末山 達榮(64歳・東荒井)

長谷川幸司(65歳・東長田)

石丸傳兵衛(58歳・木部新保)

伊藤 勉(56歳・東)

友田 直典(61歳・上関)

古城マラソン開催



2624人が健脚を競う



疾走する間寛平さん

城下町・丸岡を走り抜ける第1回坂井市古城マラソンが6月18日(日)に開催されました。県内外から2624人が参加。初夏のさわやかな風を受け、ゴールを目指して自慢の健脚を競いました。

レースは、お城のふもとをスタートとしてハーフ、10キロ、5キロ、3キロ、2キロの種目で行われました。城下

町を抜け深緑の山へと走るハーフの部では、沿道からの力強い声援を受け、ランナーたちはアップダウン激しいの難コースに挑んでいました。

また、マラソン愛好家や有名なタレントの間寛平さんがゲストランナーとして快走。市民ランナーとともに城下町を駆け抜けていました。

長寿を祝い敬老会を開催

長寿を祝って敬老会が春江町と丸岡町で盛大に行われました。75歳以上のお年寄りが集い、楽しいひとときを過ごしました。



▲大石子供太鼓が力のこもった演奏



▲美山パバーズの劇に笑いの渦

春江町は6月4日(日)、ハートピア春江と春江小体育館の2会場で開催され、

国際ソロプチミスト福井からAED寄贈

国際ソロプチミスト福井(吉田君江会長・40人)から6月16日(金)、AED(自動体外式除細動器)を1台寄贈していただきました。



▲AEDを手渡す嶋田会員

同会は、人権・平和・環境などの諸問題などへの取り組みや、地域社会と世界に奉仕と支援活動を行っています。

同日、吉田会長ら3人が来庁。代表で春江町の嶋田洋子さんから坂本市長にAEDが手渡されました。寄贈されたAEDは、本庁1階ロビーに設置しました。

宝くじ助成で地域コミュニティを活性化

911人が参加。大石子供太鼓の演奏やさわやかクラブの民謡などが披露され、参加者は時折拍手を打ったり歌を口ずさんだりと、会場は終始和やかな雰囲気になっていきました。

丸岡町は6月11日(日)に丸岡体育館で開かれ、984人が参加。小学生による敬老作文の発表や歌謡ショーが行われました。美山パバーズのコミカルな創作劇も披露され、体育館に笑いがこだましていました。

さくら太鼓(北定子代表が財)自治総合センターの宝くじ助成を受けて、太鼓や衣装などを購入しました。



▲太鼓一式などを購入

6.11



新庄区民総出で健康づくり

新庄健康フェスタが東十郷小学校体育館で行われました。イベントは、坂井町新庄自治会が開催。同区で昨年まで実施していた健康ウォークに代え、悪天候や交通安全を考慮して、幅広い年代が気軽に参加できる健康づくりイベントとして開きました。

新庄区民ら約200人が参加。チーム「響」とよさこいイッチョライを楽しんだり、ホリデイスーツクラブ福井店の片山さんらの指導でJ-POPダンスを踊ったりして、気持ちのよい汗を流していました。

音楽を通じて交流を！ 坂井・あわら音楽祭を開催

坂井・あわら音楽祭がハートピア春江で開かれました。イベントは、音楽を通じて坂井市とあわら市という地域の枠を超えて交流していこうと、丸岡青年会議所と三国・芦原・金津青年会議所の主催で行われました。

坂井・あわら市内の市民吹奏楽団や合唱グループなど14団体が出演。会場に詰めかけた観客は、心に響く演奏や美しいコーラス、迫力ある太鼓の演奏などに酔いしれていました。

6.11



6.1▶30



ゆりフェスタ 甘い香りと艶やかな色に包まれて

日照不足で開花が遅れていたゆりの里公園のユリが6月20日頃ようやく見頃を迎えました。ユリはオレンジ、白、ピンクなど花の色によって開花時期が違いますが、今年は展示ほ場のユリが一斉に咲き揃い、訪れた人たちの目を楽しませていました。

6月中は“生花と造形の協演”をテーマに「ゆりフェスタ」を開催。連日多くの見物客が訪れました。

元気はつらつ！ 老人クラブ会員がスポーツで交流

第1回市老人クラブ連合会スポーツ大会が丸岡体育館で開かれ、約480人が参加しました。

開会式で、坂井地区老人クラブ連合の森瀬正二さん(坂井町下兵庫)が「和やかに信念を持ってプレーします」と選手宣誓。

参加者たちは、風船割り競争やたまじゃくしリレー、ナイスコントロールなど10種目に汗を流し、親睦を深めていました。

6.23



6.4



大関小学校 ビオトープ先進校の鳴鹿小を視察

ビオトープ建設中の大関小学校が先進校の視察を行い、児童ら45人が「全国学校ビオトープコンクール計画部門」優秀賞の鳴鹿小学校を訪れました。

参加した児童らは、生息する動物を熱心に観察したりや担当の先生から活用状況を聞いたりしていました。

同校では、今年3月、PTAと地域住民らで建設委員会を設立。減少する自然環境を再現し、水田に住む生物などと触れ合えるビオトープを建設中です。

防犯隊が青色回転灯パトロールを開始

安全で安心なまちを目指して、市防犯隊春江地区隊が市公用車に青色回転灯を点灯しパトロールを開始しました。

同日、坂井市警察署による講習会を受講した防犯隊員に青色回転灯パトロール実施者証が交付され、犯罪抑止を目指す誓いの決意表明が行われました。

防犯隊では、春江町を皮切りに青色回転灯を付けたパトロールを市内全域に順次実施していく予定で、市民が事件に巻き込まれないよう防犯の目を光らせます。

6.7



6.10▶11



美しい音色でいねす5周年を祝う

坂井地域交流センターいねすの5周年感謝祭が開かれ、地元の農産物や花の直売市、ミニ動物園など多彩な催しが行われました。

「ハンドベル合奏団くつわむし(坂井町新庄・栗原幸子代表)」の発表も行われ、親しみのある曲を優しい音色で奏でていました。「キラキラ星」の演奏に飛び入り参加した友田梨桜さん・萌絵さん(坂井町上関)は「思うようにきれいな音がでなかったけど、またやってみよう」と話していました。

婦人防火クラブ員ら初期消火技術を競う

第28回女性消火技術大会が福井空港駐車場で行われました。嶺北消防組合管内の婦人防火クラブ員と一般女性が350人参加。一般初期消火と消火栓操作、軽可搬ポンプ操法の3競技で、培った消火技術を競い合いました。市内の上位入賞チームは次のとおり。

- ◆一般初期消火 ▷優勝 鳴鹿女子▷3位 上兵庫A
- ◆消火栓操作 ▷2位 島田B
- ◆軽可搬ポンプ操法 ▷優勝 さわか丸岡▷2位 江留中ハツラツ

6.11



三国の歴史を調査し、市民に伝え、後世へ



みくに史学研究会 メンバー 26人
 代表 富永亮一郎(三国町上錦・前列右から5番目)
 コメント 「三国の歴史・文化に関心があり歩いて調べてみたい人、三国の歴史を表す資料(古い文書や写真など)をお持ちの人はご連絡ください」
 連絡先 岡 安夫(三国町温泉・後列右から7番目) ☎81-2355

調査しようにも史料がない、史実を語れる証言者も途絶えてきた、まだ本格的な調査がされていない。今からでも史料を発掘し、郷土の歴史・文化を明らかにし、市民の歴史・文化を明らかにし、後世へ引き継ぐと有志が集まった。それが「みくに史学研究会」だ。2年前の発足から、年10回程度の勉強会を開き、新

たに判ったことを持ち寄り、歴史や文化について知識を高めている。3月には、所属するみくに龍翔館から研究紀要が発表され、「中世の三国湊と寺院」や「三国湊と遊郭」などをテーマに、会員自らが町内を歩いて聞き取り調査などを行った成果を収集した。現在、三国港や継体天皇など残された史料の研究・検証をしている。



▲往年の国鉄三国支線について調査する会員

代表の富永さんは「さまざまな資料を検証し三国歴史の根本となる研究をしていきたい。将来、坂井市史の編纂に役立つ資料を残したい」と語る。

副代表の岡さんは「歴史とは人の歩みの姿。仕事をなした人を研究すれば、その全容が明らかになってくる。今後とも会長を先頭に一体となって徹底して調査していきたい」と話す。

7月30日には、三国町内の史跡で初の市民公開講座を開催。参加者とともに、先人たちの歩みを示す史跡や継体天皇伝承の地などを巡る。三国の歴史・文化の発掘のため調査研究を積み上げ史実を明らかにしていく。意欲に満ちた開拓精神にあふれるグループだ。

みんなの 掲示板

英会話教室 受講生を募集

受講を希望する人は直接会場へお越しください。

1. 中級英会話教室
 と き 毎週木曜日 19:30~21:00
 ところ 春江南公民館 (春江町江留上大和4-8)
 内容 英語圏旅行で困らない程度

2. 児童英会話サークル
 と き 毎週水曜日 19:00~21:00
 ところ 県民生協ハーツ春江店 ひまわりルーム (春江町随応寺25-1)
 内容 児童対象ですが、初級者なら年齢不問
 問合せ 長田 ☎51-4742

やさしい囲碁教室 を開催

「囲碁を覚えたくてもきっかけが…」 「いきなり碁会所にいくのはちょっと…」 という人にぴったりの囲碁教室です。この機会に覚えてみませんか。

と き 7月22日(土)~ 平成19年1月27日(土) 毎週土曜日 9:00~12:00
 ところ 小西モーターズ碁会所 (坂井町上兵庫)
 対象 どなたでも (小中学生や高齢者大歓迎)
 会費 月1,000円 (テキスト代など)
 主催 坂井町囲碁会 (財)げんでんふれあい福財団
 協賛 鈴木 ☎090-3292-5599
 問合せ 鈴木 ☎090-3292-5599

インターナショナルさかい 新会員を募集

新国際交流ボランティア団体「インターナショナルさかい」では、坂井市における国際交流活動に積極的に前向きな新会員を募集しています。

市内在住の外国人と幅広い市民参加のイベントなどを通し、当市における国際交流・協力の輪を広げていきましょう。

今後の日程は次のとおり。
 と き 7月15日(土)、8月26日(土)13:00~15:00
 ところ 春江中公民館
 内容 イベント企画ミーティング(7/15)や国際交流広場「なんでもしゃべり場」(8/26)を計画。国際交流に関心のある人は下記までご連絡ください。
 問合せ インターナショナルさかい事務局(中村) ☎51-0434 ☎090-9443-1570 ✉tednaka@mx2.fctv.ne.jp

7月のハッピーバースデー

高木 己虎 ちゃん (1歳・春江町中筋東) 父:雅雄さん 母:美佐登さん

佐藤 蘭 ちゃん (2歳・坂井町徳分田) 父:義樹さん 母:ひとみさん

岡田 和真ちゃん・琉那ちゃん (3歳・1歳・春江町江留上昭和) 父:誠さん 母:薫さん

武曾 光二郎 ちゃん (2歳・丸岡町里竹田) 父:敏男さん 母:香奈子さん

倉本 みさき ちゃん (1歳・丸岡町小黒) 父:裕一さん 母:由美子さん

坂北 航輝 ちゃん (1歳・丸岡町東陽) 父:雄一さん 母:美幸さん

From 市長

輝く未来へ： みんなで創る希望の都市



6月22日から15日間にわたり、6月定例議会を開会しました。「希望の都市」を目指し、初日に次のように所信表明しました。

▼行政改革
 合併の最大のテーマです。旧四町の取り組みや成果を踏まえ、持続可能な財政基盤の確立など、市民の皆さんの参画をいいただきながら、「行政改革大綱」を策定します。

▼融和と協働
 一体感の精神的な核となる「市民憲章」を策定。地域を結び総合的な公共交通体系を確立、地域自治区を設置して住民参画による主体的なまちづくりを推進します。

▼安心・安全対策
 市内全域にわたる情報伝達システム整備のための調査研究を進めます。

▼少子高齢化対策
 就業機会の確保や住宅・宅地などの供給、若者の定住を促進するなど、子供を育てられる、また、高齢者が住み続けられる環境づくりを進めます。

▼産業経済の活性化
 経済構造の変化に対応し、新産業の育成や既存産業の高度化、地域ブランドづくりを推進します。

▼市総合振興計画の策定
 庁内で組織する総合計画策定委員会を中心に、市民の皆さんはじめ議会、地域協議会などの意見も伺いながら、19年度策定を目指します。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

このコーナーでは、市長から皆さんへ市政についてのメッセージをご紹介します。



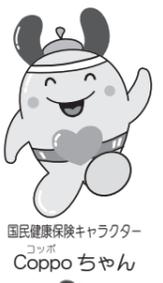
今月の表紙
 清らかな水の恵みを感じる丸岡町で
 豊かな水を供給してくれる竹田川の源流。清らかな川のせせらぎや鳥たちのさえずりが聞こえ、心を癒してくれる。アユ釣りを楽しむ男性。自然の中に溶け込むように、真剣な面持ちで釣り糸を垂らしていた。



くらしのガイド

お知らせ

平成18年10月から 国民健康保険と 老人保健の一部が 変わります



主な改正のポイント

① 高齢者の自己負担が変わります。

70歳以上の高齢者のうち、現役並み所得の人(老人保健対象者も含む)の自己負担割合を、現役世代の人と同様の3割負担とします。
 ※現役並み所得の人とは、同一世帯の70歳以上または老人保健対象者の中に課税所得が145万円以上ある人。ただし、その人の収入合計が383万円未満(2人以上の場合は520万円未満)の場合は、届出により1割負担となります。

平成18年9月まで	平成18年10月から
2割	3割
1割	1割

② 医療費の自己負担限度額が 引き上げられます



医療機関に支払う窓口負担の1カ月の自己負担限度額が変わります。

<70歳未満の人>

平成18年9月まで	平成18年10月から
上位所得者 139,800円+〈医療費〉×1% (77,700円)	上位所得者 150,000円+〈医療費〉×1% (83,400円)
一般 72,300円+〈医療費〉×1% (40,200円)	一般 80,100円+〈医療費〉×1% (44,400円)
低所得者 [住民税非課税] 35,400円 (24,600円)	低所得者 [住民税非課税] 35,400円 (24,600円)

<70歳以上の人(老人保健対象者も含む)>

平成18年9月まで	平成18年10月から
現役並み所得者 [月収28万円以上又は 課税所得145万円以上]	現役並み所得者 [月収28万円以上又は 課税所得145万円以上]
一般 12,000円	一般 12,000円
低所得者 II 住民税非課税 [年金収入 65万円以下等]	低所得者 II 住民税非課税 [年金収入 80万円以下等]
自己負担 限度額 72,300円+ 〈医療費〉×1% (40,200円)	自己負担 限度額 80,100円+ 〈医療費〉×1% (44,400円)
自己負担 限度額 40,200円	自己負担 限度額 44,400円
自己負担 限度額 8,000円	自己負担 限度額 8,000円
自己負担 限度額 15,000円	自己負担 限度額 15,000円

(注1) 金額は1月当たりの限度額
 (注2) <医療費>は全体の医療費から、定額の限度額に対応する医療費を控除した額
 (注3) 表中の(円)は、過去1年間で4回目からの自己負担限度額
 問合せ先 保健年金課 ☎50-3031

【人権擁護委員を委嘱】

4月1日付けで再任されました。(任期は3年・敬称略)
 氏名 亀原善太夫
 ところ 丸岡町高田1-24
 ☎66-7255
 問合せ先 社会福祉課 ☎50-3041

水難事故に ご注意を!

水による事故の多い季節になりました。毎年、海、河川、プールなどで尊い命が奪われています。ご注意ください。

<水難事故の要因・原因>

1. 保護者の目が離れる
2. 飲酒後に遊泳する
3. 危険箇所・危険度の認識不足
4. 自己の泳力の過信

油断や過信をなくして、水難事故を未然に防ぎましょう。

<水難事故がおきてしまったら>

1. 大声で助けを求め、周辺の人に知らせる
2. 直ちに消防署(☎119)に連絡する
3. 浮き輪やロープがあれば近くに投げる
4. 二次災害防止のため、泳いで助けに行かない
5. 助け出せた場合、速やかに応急手当をする



問合せ先 嶺北消防署 ☎51-0119

内閣総理大臣名の 書状を贈呈します

先の大戦で、外地など(事変地の区域または戦地の区域)に派遣され、戦時衛生勤務に従事された旧日本赤十字社救護看護婦と旧陸海軍従軍看護婦の人(慰労給付金受給者は除く)に対して、その御労苦に報いるため内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

本人またはご家族などからの連絡をお待ちしています。

請求期限 平成19年3月31日(土)
 請求用紙は、各総合支所福祉課にあります。

問合せ先 総務省大臣官房管理室
 業務担当
 ☎03-5253-5182
 ☎03-5253-5190
 〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2

ミニジョブカフェ丸岡を ご利用ください

ミニジョブカフェ丸岡ではカウンセラーが就職についての様々な相談に応じています。

お気軽にご相談ください。

開設日 火・木曜日
 9:00~17:00

ところ 高椋公民館1階
 (丸岡総合支所横)

対象 35歳未満の人

相談内容・何が自分に向いているかわからない

・仕事の探し方がわからない

・履歴書、職務経歴書の書き方が知りたい

・面接が不安だ など
 問合せ先 ミニジョブカフェ丸岡 ☎68-0903

夏の献血キャンペーン

県赤十字血液センターでは、献血キャンペーンを実施。血小板成分献血に協力してくれた方に記念品などを贈呈します。

期間 7月2日(日)~8月31日(木)
 ※土曜日は除く

ところ 県赤十字血液センター
 詳細はホームページで。

問合せ先 県赤十字血液センター ☎36-0221

☎http://www.fukui.bc.jrc.or.jp

税務相談を開催

税に関することなら気軽にどうぞ。事前に連絡してください。

とき 7月18日(火)13:00~16:00

ところ 丸岡商工会
 税理士 久保和彦氏
 問合せ先 丸岡商工会 ☎66-6555

くらしなんでも相談

法律問題をはじめ日ごろ暮らしの中で困っていることに対して、弁護士や金融の専門家などがお応えします。相談無料。

とき 7月23日(日)14:00~17:00

ところ ハートピア春江
 問合せ先 県労働者福祉協議会 ☎21-5929

調停相談を開催

相談には、調停委員と弁護士が対応。相談は無料で予約不要。

とき 7月31日(月)9:30~15:00

ところ 織協ビル8階
 相談内容 交通事故、消費者金融、土地・建物の貸し借り、土地の境界、相続など

問合せ先 福井調停協会事務局(福井家庭総務課内) ☎22-5000

母子家庭の母と寡婦の人の就業支援 パソコン講習会を開催

母子家庭の母と寡婦の人の就業を支援するため、パソコン講習会を開催します。託児サービスあります。

<MicrosoftExcel2003コース>

とき 9月2・9・16・23・30日(土) 10月14・21・28日(土)
 11月11・18・25日(土) 12月2・9日(土)・10日(日)

ところ NPO法人就業支援ネットワーク福井支部研修室(丸岡町熊堂3-7-1-19)

費用 受講料無料※各コーステキスト代5,000円程度、およびExcelMOS受験料10,000円程度は実費

定員 各コース15人(応募者多数の場合は抽選)

申込 電話または電子メールで

締切 8月18日(金)

問合せ先 NPO法人就業支援ネットワーク福井支部 ☎68-1604
 ☎fukui_sakai@npo-job.net

市のすがた (6月1日現在)

人口 **95,244**人(+50人)
 男 46,121人(+26人)
 女 49,123人(+24人)
 世帯数 28,888戸(+60戸)
 ※()内は前月比



募集

地域の声を市政に!

地域協議会委員を公募

合併後における地域の声を市政に反映させるため、旧町単位で地域自治区が設けられています。

地域自治区では、総合支所と地域協議会が両輪となって地域のまちづくりを進めます。地域協議会では、自治区の事務やまちづくりに意見を述べたり、提案を行ったりします。

より広い市民のみなさんの意見を取り入れるため、一般の委員を公募します。希望される人は、次のことに留意の上、応募してください。

募集人数 各自治区2人

任期 2年

報酬 支給しません

応募資格 応募自治区内に住所を有する人

応募方法 各総合支所地域課に備え付けの申込書とともに「我が自治区への思い」を原稿用紙(400字詰)2枚程度にまとめ提出してください

応募締切 7月31日(月)

※応募者多数の場合は、論文をもとに選考させていただきます

詳しくは、下記または各総合支所地域課まで問い合わせてください。

問合せ先 総務課 ☎50-3010

空き工場、店舗など情報を ホームページに 掲載しませんか

市では、市のホームページに空き工場・店舗・倉庫などの情報を掲載し、市内で空き工場などを探している人に情報発信しています。

掲載する情報は随時募集しています。所有している空き工場などの物件を「貸したい」「売りたい」と考えている人は、お気軽に情報をお寄せください。

問合せ先 商工観光課 ☎50-3152

参加しませんか?

花壇コンクール

応募資格 花壇またはプランターを有する地区・団体(グループ)

審査日 9月中旬頃(花の生育状況などに合わせて決定します)

申込 7月31日(月)までに参加申込書を各公民館または生涯学習課まで提出してください。申込書は、生涯学習課、自治会長宅または生涯学習推進員宅にあります

問合せ先 生涯学習課 ☎50-3162

出場者募集

全日本素人そば打ち名人大会予選会 素人そば打ち段位認定会

第11回全日本素人そば打ち名人大会坂井市丸岡地区予選会と第6回坂井市丸岡町素人そば打ち段位認定会の出場者を募集中です。

とき 7月23日(日)

ところ 一筆啓上茶屋

対象者 そば打ちの営業、または指導によって収入を得ていない人※3段受験者は、平成16年以前に2段認定を受けた人に資格あり

大会名	時間	定員	参加費
段位認定会	8:30~	40人	初段~2段 2,000円 3段 3,000円
予選会	14:10~	20人	5,000円

締切 先着順。定員になり次第締め切り

申込方法 所定の申込用紙に記入し下記へ提出

問合せ先 丸岡そば振興協議会(丸岡総合支所産業課内)
☎68-0806 ☎67-0094

防火作文・防火標語を募集

テーマ	日ごろから行っている防火・防災活動やその活動から学んだこと、自身のアイデア、地域防火防災についての意見やこれからの抱負
応募資格	坂井市とあわら市の事業所勤務者または在住者
応募要領	【標語】五七五の定型で、1人2点 【作文】400字詰め原稿用紙3枚程度で、1人1点 ・住所、氏名、年齢を明記(学生は学校名とクラス名を記入)

締切 8月31日(木)必着

提出先 最寄りの消防署へ持参または郵送

問合せ先 嶺北防火協会 ☎51-0119

市職員を募集

職種	採用人員	受験資格	試験
保育士	10名	昭和52年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれて、保育士資格かつ幼稚園教諭免許を有する人または平成19年3月31日までに資格および免許取得見込みの人	1次試験 とき 9月17日(日) ところ 福井大学 内容 教養試験 適性検査 2次試験 とき 11月上旬

手続 申込用紙は、職員課で7月20日(木)から交付。郵便で申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、送付先明記の上、120円分の切手を同封してください

受付期間 7月28日(金)~8月18日(金) 8:30~17:00(土・日曜日は除く)
※郵送の場合は8月18日(金)の消印有効

申込・問合せ先 職員課 ☎50-3011 〒919-0592 坂井町下新庄1-1

三国病院職員を募集

職種	採用人員	受験資格	試験
助産師	1人	昭和42年4月2日以降に生まれ、免許取得者または免許取得見込みの人	とき 9月中旬 ※受験者に直接通知
看護師	6人	昭和42年4月2日以降に生まれ、看護師または准看護師免許取得者または免許取得見込みの人	ところ 三国病院 内容 専門試験
臨床工学技士	1人	昭和47年4月2日以降に生まれ、免許取得者または免許取得見込みの人	作文試験 口述試験

手続 申込用紙は、三国病院事務局で7月20日(木)から交付。郵便で申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、送付先明記の上、120円分の切手を同封してください

受付期間 7月28日(金)~8月18日(金) 8:30~17:00(土・日曜日は除く)
※郵送の場合は8月18日(金)の消印有効

申込・問合せ先 三国病院事務局 ☎82-0480(内線211)
〒913-8611 三国町中央一丁目2-34

地球温暖化ストップ県民運動 「LOVE・アース・ふくい」 「わが家のエコ宣言」「わが社のエコ宣言」を募集

県と県地球温暖化防止活動推進センターでは、冷暖房の設定温度を過度にしない、家電製品のコンセントをこまめに抜くなど省エネ活動に取り組む家庭や事業所を募集します。

募集期限 平成19年3月31日(土)

応募方法 所定の用紙に記入し送付またはFAXで(用紙は各総合支所市民課)ホームページ(<http://www.stopondanka-fukui.jp/>)からも申し込み可

応募・問合せ先 県地球温暖化防止活動推進センター
〒910-0004 福井市宝永3丁目3-1

☎30-0092 ☎21-1261

坂井地区介護保険広域連合 職員を募集

採用人員 若干名

職務内容 介護保険業務

受付期間 7月28日(金)~
8月18日(金)

1次試験 9月17日(日)
受験資格など詳しくは下記へ。
問合せ先 坂井地区介護保険広域連合総務課
☎72-3305

消防士を募集

採用人員 6人

採用予定日 平成19年4月1日

受験資格 昭和54年4月2日から平成元年4月1日までの生まれで、高卒程度の学力を有する人

受付期間 7月28日(金)~
8月18日(金)

1次試験 9月17日(日)
詳細はホームページをご覧ください
ただか、消防本部職員課まで。
問合せ先 嶺北消防本部職員課
☎51-0119

☎<http://www.reihoku-fd.jp/>

刑務官を募集

受験資格 昭和52年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた人

受付期間 7月18日(火)~
8月1日(火)

試験日 9月17日(日)

申込・問合せ先 福井刑務所庶務課人事係
☎36-3220

〒918-8101
福井市一本木町52

文化財探訪

タブの木

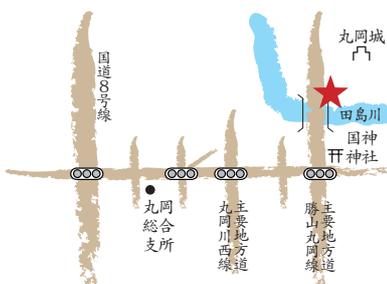


丸岡城築城当時の名残を残すタブの木。かつて国神社の外堀沿いの土堤上に植えられた。神社の境内の大杉などは福井大震災で焼失したが、唯一この木はまぬがれた。現在、神社の神木として保存されている。城下町の移り変わりをみてきた大木のある丸岡町霞町一丁目を巡った。

「この木の横にある田島川のおかげで、焼失しなかったんだよ」と、近所に住む平木菊子さん（90歳・丸岡町城南）が福井大震災時を思い出して話してくれた。

「昔、この木には『ノリツケ、ホウセイ』という鳴き声のフクロウがいてね。家まで聞こえてきたよ」と、風雪で折れてしまった木の上部を見ながら、かつてを振り返る。

雑草取りや落ち葉の掃除などもしているという平木さんは「いつまでも残ってほしい」と、青々とした葉を茂らせる老木を見て話していた。



編集室



『蒼い時間』(丸岡町上久米田)

▼古城マラソンを取材。深緑の中を駆け抜けるハーフの部を撮ろうと、自転車で先回り。山沿いを走るコースのため、坂道を「エッホエッホ」。トップで走ってきた選手の顔は、私より涼しそうでした。(嘉)

▼『純な旅』にどうしても夜景を撮りたくて、夜な夜な近庄峠へ通うこと1週間。カッブルの冷たい視線と、虫の攻撃に耐えながら頑張りましたが、満足には撮れませんでした。写真って難しいよね…。(純)



宵の口の静かな時間が好き。雑多な日々だからこそ自分に戻れる時間は必要だね。Route364を走りながらゆっくり自分を探してみない？

